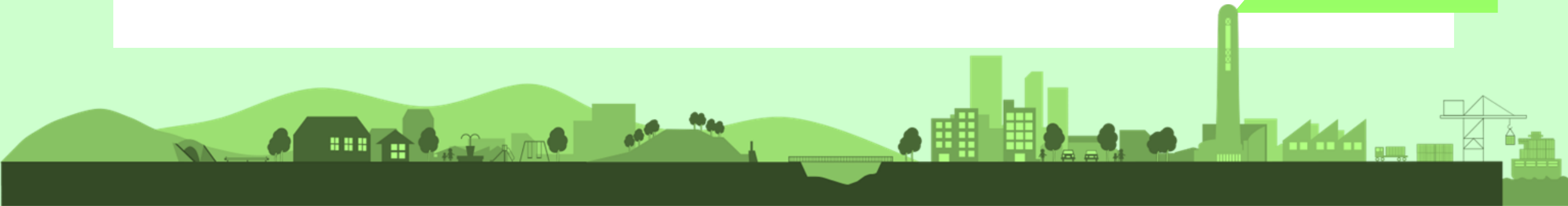


「こどもや子育てにやさしい休み方改革」 の推進について

山 口 県



趣 旨

- 県政の最重要課題である人口減少の大きな要因である少子化を克服していくためには、
 - ・ 子育て中の方々の、親子で一緒に過ごすことができる時間を増やし、子育ての楽しさや喜びを実感できるようにすること
 - ・ 子育て中の方々を、社会全体で応援する機運を高めていくことにより、山口県で子育てすることの満足度を向上させることが重要
- そのための取組の一環として、これまでの働き方改革に加え、「こどもや子育てにやさしい休み方改革」を全県的に展開



現状と課題

- ✓ こどもの行事や休み等に合わせて休暇を取得することを躊躇する意識がまだ根強い
- ✓ 職場において、「周囲に迷惑がかかる」など、休暇を取りにくい雰囲気がある
- ✓ 親が祝休日に仕事をしているなど、こどもと一緒に過ごす時間がつくりにくい家庭がある

▶ みんなに迷惑がかかると感じるから	44.9%
▶ 後で多忙になるから	38.0%
▶ 職場の雰囲気取得しづらいから	22.5%
▶ 上司がいい顔をしないから	17.9%
▶ 昇格や査定に悪い影響があるから	9.3%

※厚生労働省調査

こどもの行事等にに合わせて休暇を取得することを社会全体で応援する機運醸成を図るとともに、こどもと親の双方が一緒に休め、親子で楽しめる環境・仕組みづくりを推進

取組の4本の柱

1 こどものために休むことが当たり前となる 社会全体の機運醸成

2 こどもと過ごすための休暇を取得しやすい 職場環境づくり

3 休暇を家族で一緒に過ごせる 仕組みづくり

4 家族で山口への愛着を高めながら楽しむ コンテンツの充実

1

こどものために休むことが当たり前となる 社会全体の機運醸成

こどもや子育てにやさしい休み方改革キックオフシンポジウム

開催日 2024年6月6日(木) 参加者 250名(企業、子育て機関、行政機関等)

プログラム

- 基調講演 「休み方改革で、こどもたちの未来を創る」
NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事 安藤哲也 氏
- 事例発表 「子育てにやさしい職場環境づくり」
株式会社はつもみぢ 十二代目蔵元 原田 康宏 氏
- 「愛知県のラーケーションの取組」
愛知県義務教育課 課長 尾本 国博 氏
- パネルディスカッション 「みんなで考える新しい休み方」



「こどもや子育てにやさしい休み方改革」月間の創設

- 「いい育児の日(11月19日)」を中心に、11月を「こどもや子育てにやさしい休み方改革」月間に制定
- ▶ 積極的な休暇取得を要請
 - ▶ 親子で参加できるイベント等の開催
 - ▶ 参加に繋がる環境整備を推進

企業における休み方改革の支援

▶こどもや子育てにやさしい休み方改革企業取組コンテストの実施

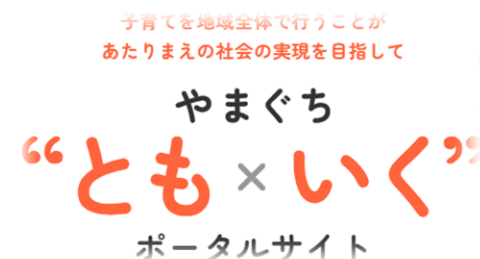
- ・積極的な子育て参加のための休暇制度の整備や従業員への休暇取得促進などを実施している企業を対象に、コンテストを実施《募集期限：7月12日（金）》
- ・優秀な企業の取組を選考し、表彰（11月）
- ・県HP等で取組内容をPR（最優秀賞の動画制作）

男性の長期育休の取得強化に向けた支援等

▶企業の育休取得を後押しする奨励金の創設

- ・育休取得を推奨する企業に対して最大約180万円の奨励金を支給

▶男性育休等に関する情報を発信するポータルサイトの開設



「家族でやま学の日」の創設 (県立学校は6月以降、市町立学校は準備が整った市町から順次開始)

▶ 県内の公立学校に通う子どもたちが、学校休業日以外でも家族とともに、校外で体験や探究の活動を考え、企画し、実行できる「家族でやま学の日」を導入し、家族で過ごせる仕組みを構築。

- ・ 保護者の休暇に合わせて、事前に学校に申請書を提出。
(年に3日程度活用可能)
- ・ 校外での自主学習活動であるため、欠席扱いとはならない。



▶ 「やまぐちで学ぶ」、「やまぐちを学ぶ」ことで、山口への愛着を深める。

活動例

【学びのキーワード】

自然・科学・環境・実験・観察・産業・スポーツ・文化・芸術・歴史・地理・
伝統芸能・国際理解・福祉・SDGs・見学・創作・鑑賞・キャリア教育…等

◇地域の史跡めぐり◇



地域ガイドと一緒に史跡をめぐり、地元の歴史について学び、新聞やスライドにまとめてみよう

◇身近な植物調査◇



家の周りの植物について図鑑やインターネットを使って調べ、分布や季節による違いを整理してみよう

◇いろいろな表現で◇



家族で使う食器など、自由な発想で形作り、実際に使った感想を交流しよう

◇家族で農業体験◇



収穫した野菜などを使ったオリジナル献立を考え、調理を計画して、家族にふるまってみよう

◇自然を感じる◇



山や川、海などの自然に触れ、そこでできない体験をしてみたり、写真などの記録におさめたりしてみよう

◇新たなスポーツへの挑戦◇



普段学校では経験できないニュースポーツに、家族みんな挑戦したり、独自のルールを考案したりしてみよう

平日でも遊べる観光コンテンツの充実

○謎解き県内周遊イベント（7月～来年1月）

- ・県内市町に隠されたスポットを謎を解きながら周遊
- ・家族でイベントを楽しめるよう、こども向け・家族向けのデジタルクーポンを設定



○古地図を片手にまちを歩こう（秋開始予定）

- ・古地図を片手に城下町や宿場町を散策するコースを提供
- ・親子で楽しめるガイドウォークを新たに実施



○アウトドア体験コンテンツ割引キャンペーン（7～9月、11月）

- ・アウトドア体験コンテンツ等の体験利用料最大30%割引
- ・夏期(7月～9月)に加え、改革月間中(11月)も割引キャンペーンを実施



親子で平日に参加できる体験教室等の開催

- ・夏休みや改革月間（11月）の平日における体験教室等の開催

親子で行く！工事現場見学・体験会、脱炭素に触れる体験型イベント、ロボットプログラミング教室（博物館）、とくさがみねで自然まんきつ（十種ヶ峰青少年自然の家）等

公の施設の使用料等の免除

- ・改革月間中（11月）、こども連れの利用者に対して、公の施設の使用料を免除

新光産業きらら浜自然観察公園、オーヴィジョン海峡ゆめタワー、山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館、やまぐちフラワーランド、山口きらら博記念公園（プール）、山口博物館 ※文化施設については、常設以外の企画展、コンサート等は除きます。

公の施設における子育て家庭の優先案内の実施

- ・混雑時、博物館、県立美術館等の文化施設において子育て家庭を優先案内

こどものために休むことが当たり前となる社会環境の実現に向けて、「やまぐち子育て連盟」を中心に、行政・企業・学校等が協働して、県民運動を展開します。

